



関西大学
体育会野球部

奪首×Dash! 第4号

2010. 11



TOPICS

◇秋季リーグ戦特集

1. 結果報告
2. ハイライト
3. ベストナイン賞
4. ラストシーズンを終えて

◇編集後記



KWANSAI BASEBALL TEAM

1. 秋季リーグ戦・結果報告

2年ぶりの秋季リーグ戦・悔いの残る5位

不祥事を乗り越え、臨んだ春季リーグ戦は、惜しくも3位という結果でした。そして、迎えた平成22年関西学生野球秋季リーグ戦は、関大野球部にとって優勝したいという思いがより一層深いものとなりました。ベンチもスタンドも一丸となり、全試合を戦いました。立命館や、春季リーグ戦では2連敗を喫した同志社に勝利し、3戦目まで持ち込むものの、あと1歩及ばず勝ち点を奪う事ができませんでした。優勝は逃してしまいましたが、このままでは終われない関大は、伝統の関関戦で優勝候補の関学に、2連勝することができました。関大は、6勝6敗勝ち点2、最終順位は5位でリーグ戦を終えました。

4年生にとっての最終戦を勝利で、しかもライバルの関学に連勝という最高の結果で締めくくることができ、本当に良かったです。試合後は、多くの部員が涙を流していました。主将をはじめ幹部が胸上げで祝福され、チームは感動の空気に包まれました。

この1年、多くの困難がありましたが、新体制の下、4年生を中心としてチーム一丸となって様々な活動に取り組み、野球部を再建することができました。今リーグも多くの方に応援していただき、感謝の気持ちでいっぱいです。関大側スタンドの応援は、例年以上に熱いものとなり、メンバーの力となりました。

新チームで、来季こそは今季果たせなかった奪首を達成します。今後ともご声援よろしくお願いいたします！

部長・監督、就任1年目を終えて



部長・田尻悟郎

秋季リーグ戦は残念な結果となりましたが、優勝の可能性が無くなってからも、ベンチ入りした選手はもちろんのこと、スタンドで応援してくれた選手たちが精一杯声を出し、最後まであきらめることなくプレー・応援を続けました。いろいろあった一年でしたが、部員は緊張感と自覚を持って、野球選手としても人間としても、大きな成長を遂げました。皆様のご声援に、心から感謝いたします。



監督・藤田透

関大野球部復活を懸けて挑んだ春・秋リーグ戦でしたが、善戦をしながらこ一番での勝負どころの弱さが出て優勝に手が届かないという結果に終わりました。しかしながら春のスタート時に比べると格段に力が付き来シーズンは優勝を狙えるチーム力になったと思います。「強い関大野球部」復活を目指し部員全員で頑張って参ります。今後とも関大野球部をよろしくお願い致します。

2. 秋季リーグ戦ハイライト

第2節 京都大学

開幕戦・連勝し、好発進！

9月11日（土）、12日（日） 皇子山球場

初戦となる1回戦では小林龍（3年・神港学園）の2点本塁打を含む10安打5得点で、相手投手陣を圧倒した。投手陣も先発・吉川（2年・履正社）が7回を2安打無失点に抑え、初戦を勝利で飾った。2回戦も、蛭子（4年・履正社）の左中間への二塁打などで5点を先制し、その後も得点を積み重ね、計13得点と圧倒した。先発・横山（4年・報徳学園）が好投を見せ、2試合連続の完封勝利となった。

1回戦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H
関大	1	0	0	1	3	0	0	0	0	5	10
京大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

2回戦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H
京大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
関大	0	0	0	0	5	0	7	1	×	13	6



第3節 同志社大学

リベンジ戦 3戦目にもつれ込むも・・・

9月18日（土）、19日（日）、20日（月） わかさスタジアム京都

春季に連敗した同志社との1回戦は、8回に、山田（3年・明德義塾）の右中間への三塁打で1点を返すも、相手投手の好投にあと一歩及ばず、今初の黒星となった。一方、2回戦は、8回に、満塁から稲森（1年・智辯学園）が走者一掃の逆転三塁打を放つなど5得点を奪い、試合を決めた。また、7回からは近藤（2年・福知山成美）が無失点に抑え、リーグ戦初勝利となった。迎えた3回戦は、4回に代打・渡辺（4年・福知山成美）の左翼線への適時二塁打で1点を先制。先発・横山は8回まで無失点の好投を見せ、試合は1点を争う緊迫した試合となった。9回に2点を返され、痛恨の逆転負けとなった。

1回戦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H
同大	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3	5
関大	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	6

2回戦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H
関大	0	0	0	0	3	0	0	5	1	9	10
同大	1	0	0	1	0	1	1	0	0	4	9

3回戦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H
同大	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	7
関大	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	7



第4節 立命館大学

リーグ戦中盤での痛恨の敗戦

9月25日（土）、26日（日）、27日（月） スカイマークスタジアム

1回戦は、中園（2年・奈良大附）の右前適時打や、3回の打者一巡の猛攻などで一時は5点をリードするものの、なかなか追加点奪うことができず、逆転負けを喫した。2回戦は、緊迫した投手戦となった。先発・横山が4安打、無四球、無失点に抑える好投を見せ、小林龍の左越本塁打の1点を守り抜き、完封勝ちで接戦を制した。3回戦は、4点差を追う6回、関大は代打・渡辺の中前適時打などで2点差につめ寄ったが、その後相手投手に抑えられ、得点を奪うことができず、痛恨の敗退となった。

1回戦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H
関大	1	1	4	0	0	0	0	0	0	6	12
立命	1	0	0	0	1	4	0	1	×	7	6

2回戦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H
立命	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
関大	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	7

3回戦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H
関大	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	8
立命	0	2	0	0	2	0	0	0	×	4	8

第6節 近畿大学

緊迫する投手戦 結果はいかに…

10月10日(日)、11日(月) 皇子山球場

1回戦は、7回、小林龍が今季3本目となる本塁打を放ち先制したが、好投を見せていた先発・横山が、7回に2点を返され逆転を許し、接戦を制することができなかった。2回戦は、関大の投手陣は粘りのある投球を見せるも要所を抑えられず3失点。打線は9回に代打・渡辺の右前安打などで一、三塁とし、この試合初めての好機をつくるも活かせず、完封負けを喫した。

1回戦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H
関大	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	4
近大	0	0	0	0	0	0	2	0	×	2	3



2回戦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H
近大	0	0	1	0	0	0	1	0	1	3	10
関大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3

第7節 関西学院大学

伝統の関関戦・有終の美を飾る！

9月16日(土)、17日(日) わかさスタジアム京都

1回戦は、初回に1点を先制されたが、その後は先発・横山が踏ん張り、続く近藤、吉川も好投を見せ、関学に追加点を許さなかった。7回、代打・水野謙(2年・東海大仰星)の中越適時打で1点を返し同点。9回に小林龍、中園の連続適時打で2点を追加し、勝ち越しに成功した。関関戦の初戦を見事な逆転勝利で飾った。2回戦は、初回に蛸子、松岡良(3年・東海大菅生)の連続適時打で3点を先制。先発・秋本(3年・北陽)は6回まで無失点の好投を見せた。7回に1点差まで詰め寄られるものの、8回に小林龍の左越適時二塁打で2点を追加し、関学を突き放した。しかし関学が粘りを見せ、9回に1点を返され、二死満塁のピンチを迎えるが、最後のバッターをサードゴロに打ち取り、試合終了。関大の連勝で2日間の関関戦は幕を閉じた。



1回戦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H
関大	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3	9
関学	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5

2回戦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H
関学	0	0	0	0	0	0	2	0	1	3	8
関大	3	0	0	0	0	0	0	2	×	5	11

秋季では2年ぶりとなる伝統の関関戦。今年は例年と違い、ナイターの中行われました。ナイターにも関わらず約3,000人もの方に足を運んでいただき、ありがとうございました。どちらの応援もスタンドが一体となっており、観客・応援団・部員全員が楽しめる2日間でした。皆様からの熱いご声援もあり、見事2連勝で終えることができました。



3. ベストナイン賞・関大から2名が受賞

〔遊撃手〕松岡良典(3年・東海大菅生)

チーム最多の13安打を放ち、0.342と高打率をマーク!自身初のベストナイン受賞!!

ベストナインをいただけて嬉しいです。しかしチームが優勝してこそベストナインですので来季は優勝できるよう精一杯頑張ります。



関大勢が活躍!

〔一塁手〕小林龍之介(3年・神港学園)

リーグトップの3本塁打を放つなど関大の4番として活躍!!

納得いく結果ではないですが、ただで光栄です。これからは自他共に納得のいく形でとりたいです。最終的には、関大全員がベストナインをとることが夢です。

暖かいのご声援 ありがとうございました！！



関西学生野球六大学平成22年秋季リーグ戦 勝敗表

順位	校名	同大	関学	近大	立命	関大	京大	勝	敗	勝点
1	同大	※	●●	〇〇	〇●〇	〇●〇	〇〇	8	4	4
2	関学	〇〇	※	〇●●	〇〇	●●	〇〇	7	4	3
3	近大	●●	●〇〇	※	●〇●	〇〇	〇〇	7	5	3
4	立命	●〇●	●●	〇〇〇	※	〇●〇	〇〇	7	6	3
5	関大	●〇●	〇〇	●●	●〇●	※	〇〇	6	6	2
6	京大	●●	●●	●●	●●	●●	※	0	10	0

4. ラストシーズンを終えて



主将・永松 泰典

応援ありがとうございました。皆さまの温かいご声援のおかげで無事、秋季リーグ戦を終えることができ、僕たち4年生は引退を迎えることができました。僕たちはあと少しのところで優勝を逃してしまいましたが、後輩達がきっと僕たちの夢である神宮出場を現実のものにしてくれると思います。この1年は僕たちにとって野球ができる喜びを改めて実感できる年でした。去年までのチームと違い、部員全員が目標を一つに努力できるようになりました。そして最後に、多くの人に支えられ素晴らしい4年間を過ごすことができたと思います。これからも、関大野球部に暖かいご声援をよろしくお願い致します。



主務・岡山 馨

ご声援ありがとうございました。秋季リーグ戦は5位という悔しい結果でしたが、不祥事を乗り越え、0から自分たちで努力し、積み上げてきたこの1年間を無事に終えることができ、やり切ったという気持ちでもあります。4年生にとって、多くを学び、辛い事も楽しかった事も経験した4年間は本当に大事な財産となりました。これからは関大野球部での経験を力に社会という新たなステージに立ち向かって行きたいと思います。また、3年生以下は来季のリーグ戦に向けて走り出しました。今年達成できなかったリーグ制覇を目指して努力してまいりますので、今度とも暖かいご声援をよろしくお願い致します。

編集後記

マネージャー 2年生 西 凌太

奪首×Dash 第4号はいかがでしたか？ 秋季新人戦が終わり、新チームになって約1ヶ月が経ちました。部員全員が一丸となって来季のリーグ制覇に向かって動き出しています。新体制になり、まだまだ至らないところが多いと思いますが、これからより良いものを作るよう頑張りますのでよろしくお願い致します。



ご意見・ご感想 大募集！

ご愛読ありがとうございました。今後の『奪首×Dash！』の編集に活かしていきたいと思いますので、同封している別紙のアンケート用紙をご記入の上、下記の送付先にFAX、または郵送していただければ光栄です！皆さまからのご意見やご感想をお待ちしております！



○送付先○

〒564-8680

大阪府吹田市山手町 3-3-35 関西大学新凱風館内

関西大学体育会野球部 宛

TEL: 06-6368-1111(4979) FAX: 06-6388-8214

E-mail: kwansai-univ_baseball@mopera.net

HP: http://www.kandai.ne.jp/~cl_baseball

奪首～負けっぱなしじゃ終われねえ～

由来

新幹部発表

新主将 中央右

小林龍之介（3年・神港学園）

新副主将

左・秋本達也（3年・北陽）

中央左・矢野慶太（3年・高知）

右・高月康宏（3年・関西）

主務

西 凌太（2年・酒田南）

新主将・小林龍之介の挨拶

新主将・小林龍之介（3年・神港学園）

キャプテンになってしないといけないという責任を感じるようになりました。花が根に支えられているように、僕たち関大野球部は周りの人に支えられています。先輩方が作ってくれた土台という根がしっかりしているので、僕たちが水や光を与えて大輪の花を咲かせたいと思います。その花こそ神宮出場であり、日本一であり、色々な意味が込められています。花に自分達の色を付けて最強のチームより最高のチームを目指したいです。



秋季新人戦 春と同じく3位！

11月9日（火） 豊中ローズ球場 03-0 京都大学

坪内（1年・育英）が8回7奪三振無失点の好投を見せ、京大打線を抑え込んだ。打線は7回に青山（2年・近江）の犠飛で先制し続く中園（2年・奈良大附）の左中間への適時三塁打などで加点し、試合を決めた。

11月10日（水） 準決勝 01-1 近畿大学（連盟規定の抽選の結果、敗退）

先発・吉川（2年・履正社）が、3回裏に近大の8番に本塁打を打たれ1点を先制されるが、その後追加点を許さず、緊迫した試合展開となった。9回表、福田一（2年・龍谷大平安）が左前適時打を放ち同点とすると、試合は1-1で終了し、連盟規定の抽選の結果、関大の負けとなった。

11月11日（木） 3位決定戦 08-4 立命館大学

3回、青山（2年・近江）の中越本塁打で1点を先制し、4回に2点を追加した。先発近藤（2年・福知山成美）は4回まで無失点に抑えるものの、5回に連打を浴び逆転を許したが、奥村（2年・大阪桐蔭）、浦田（2年・智辯和歌山）の適時打で逆転、6回にも2点を追加し立命館を突き放した。

☆選手談☆ 優秀選手賞獲得・中園拓磨（2年・奈良大附）

今回の新人戦は2年生がしっかりとチームを引っ張ることが出来、また、1年生も力を発揮してくれたので良い試合が出来ました。その中で優秀選手賞をとれて、とてもうれしく思います。この結果に満足せず、リーグ戦では勝負強い選手になれるようにレベルアップをはかりたいと思います。



12月1日(水)	納会（梅田新阪急ホテル）
1月6日(木)	垂水神社参拝
2月上旬	冬季強化合宿（高岳館）
3月上旬	春季キャンプ（安芸タイガース球場予定）

※今後の予定の詳細につきましては、ホームページにて
随時更新致しますので、是非ご覧ください。